



サステナなおおぶル 環境パートナーシップ

環境課 ☎(85)5335

最近よく耳にする地球温暖化について、皆さんはどのような対策・行動をしていますか。
地球温暖化は、私たちの生活によって排出される温室効果ガスの増加によって、
地球の気温が徐々に上昇していく現象のことです。
このまま気温が上がると、ゲリラ豪雨・猛暑などの異常気象が頻発し、
動物・植物の生態系にも深刻な影響を及ぼします。
スケールの大きい問題ですが、地球温暖化を軽減するためには
国・事業者だけでなく、私たち一人一人の行動がとても重要です。
今号の特集では、地域の環境づくりに関心のある事業者・団体・市民が
集まって結成した「環境パートナーシップ」の活動を紹介します。
地域の未来を守るために活動する環境パートナーシップを知り、
今、私たちができることを一緒に考えてみませんか？

Platform

環境活動のプラットフォーム 環境パートナーシップ

Partnership

環境パートナーシップは、環境づくりに関心のある地域に密着したプレーヤーたちが集う「地域協働・人づくり」の拠点として、2003年に発足した市の環境活動プラットフォームです。事業者・団体・大学・市民が参加し、年に2回程度開催する環境パートナーシップ会議で、参加者から課題や企画の提案があった事業を中心に、連携・協力しながら環境活動を行っています。

立場の異なる参加者同士が、直接関わることが難しい場合には市が間に入り、課題解決・普及促進に向けたコーディネートを行い、円滑な連携・協力体制の構築を実現しています。さらに、市が積極的に情報発信することで、環境パートナーシップの認知度向上に貢献しています。

次のページからは、地域の環境課題に取り組むために環境パートナーシップで展開している多彩な活動を紹介します。

基本方針3 環境に配慮した社会づくり

基本施策
循環型社会づくり

基本施策
脱炭素社会づくり

基本施策
自然共生社会づくり

基本方針1 持続可能なくらしづくり

基本施策 安心・安全・快適な生活環境づくり

基本方針2 学びあうみらいの人づくり

基本施策 地域協働・人づくり

骨格

根

第3次大府市環境基本計画の基本方針・基本施策イメージ図

人と自然が共生する みらい輝く健康都市を目指して

地球温暖化の問題に対し、2021年1月に市は、2050年度を目標に温室効果ガス排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティを宣言しました。

2021～2030年度を計画期間とする第3次大府市環境基本計画では、基本方針と基本施策を図のように整理しています。この計画の中で、環境に配慮した社会づくりを進めるには「骨格となる施策」、それを支える「根っことなる施策」の両方が不可欠です。つまり「地域協働・人づくり」は、全ての施策の基盤となる重要な役割を担っています。

今回紹介する環境パートナーシップは、この「地域協働・人づくり」に大きく貢献しています。

愛知環境賞 優秀賞を受賞

企業・団体などが実施する先駆的で効果的な環境に関する取り組みを表彰する「2025愛知環境賞」で、環境パートナーシップの産学官民による連携した取り組みが、その先駆性と社会貢献性を高く評価され、2025年2月に優秀賞を受賞しました。



Congratulations

Partnership



「もったいない」を「ありがとう」に フードドライブ活動



思いの詰まった食品を 必要としている方へ届けたい

Interview

桃陵高等学校 山口音さん

桃陵高等学校では、毎年文化祭のPTA企画としてフードドライブ活動を行っています。「困っている人たちを少しでも助けたい」との思いで呼び掛けたところ、多くの方が快く協力してくださり、温かい気持ちを感じました。皆さんの思いが詰まった食品が、一人でも多くの方の支えになればうれしいです。

市内では、社会福祉協議会と子育て支援サークル「あそびのいっぽ」が連携し、市民や事業者からの寄付などを活用して、ひとり親家庭や生活困窮家庭に食料支援を行っています。市民からの寄付は、市内12カ所に設置する常設窓口や公民館・自治区のイベントでの臨時窓口において、家庭で不要となった未開封の食品を受け付けています。寄付された食品は、必要としている方々に届けられ、日々の生活を支える大きな力となっています。

2024年7月からは、(株)ファミリーマートと連携して「ファミマフードドライブ」を開始。現在市内6店舗に寄付ボックスを設置し、より身近な場所で気軽に寄付できる拠点を増やすことで、支援の輪を広げています。



フードドライブを生かした支援

子育て支援サークル「あそびのいっぽ」では、子育て中の母親が気軽に集える憩いの場として「ママのための寄り添いcafe」を開催しています。さらに、自主勉強に取り組むこどもたちを応援する「夜食セルフcafe time」や中高生の交流の場「中高生サロン」も定期的に開催。フードドライブで集めた飲食物を提供し、食品ロス削減にもつながっています。

未来に希望を持ち、楽しみながら成長してほしい

Interview

小学校の相談員として働く中で、コロナ禍により、こどもたちの遊びや行事が制限され、楽しい時間が減っていると感じました。そんなこどもたちに「放課後も楽しかったと思える時間を届けたい」との思いで、中高生サロンを始めました。活動で出たごみの分別や生ごみをコンポストで堆肥化するなど、エコ活動にも取り組んでいます。コロナ禍以降、10代の自死率は上昇し、高い水準が続いています。「生きていてよかった」「未来が楽しみ」と感じられるきっかけを届けられたらうれしいです。

子育て支援サークル あそびのいっぽ
代表 大橋房代さん



アサギマダラと出会えるまちへ

アサギマダラ飛来の拠点づくりプロジェクト



2019年に知多半島をアサギマダラの飛来地にするため、このチョウが好んで吸蜜する植物であるフジバカマをニツ池セレストナに植栽し、飛来拠点として整備を始めました。フジバカマの育成は、生物に詳しい知多自然観察会からノウハウを学んでいます。

知多半島は元々アサギマダラの南下ルート上に位置していることから、整備を始めた初年度から毎年、飛来するようになりました。そのため、チョウが飛来する10月頃には、市内外から多くの方がニツ池セレストナを訪れ、優雅に舞う姿を観察しています。

環福連携で広がるフジバカマの育成

障がいのある方の社会参画や生きがいづくりの一環として、市内の福祉施設でフジバカマの植栽を行う環福連携の取り組みが広がっています。現在では、(有)新鮮農場おはよう君の敷地内にもフジバカマを植栽中。ボランティアの方は「草取りや水やりなどを通して、地域の方と交流できたことがうれしかった」と話しました。

(有)新鮮農場おはよう君



アサギマダラを待ちながら 地域貢献に参加

Interview

就職トレーニングセンター
職員 深川麻美さん



地域貢献の一環としてフジバカマの育成を始めました。ニツ池セレストナで行われた植栽講座には利用者の皆さんと一緒に参加し、育成方法を学びました。近隣施設では飛来情報もあるので、ぜひこの場所にも来てほしいです。これからも大切にフジバカマを育て、みんなでアサギマダラを待ちたいと思います。

社会福祉法人憩の郷ワーキングスペースおおぶ



フジバカマの美しさで 笑顔とチョウを呼びたい

Interview

(有)新鮮農場おはよう君
代表取締役 浅田穰さん



最初はフジバカマもアサギマダラも知りませんでしたが、花の美しさに惹かれて植え始めました。福祉施設の利用者の皆さんが丁寧に楽しそうに作業していたのが印象的でした。この場所にもアサギマダラが来てくれることを願い、来年は植栽範囲を広げ、希望者には苗をプレゼントしていきたいです。

福祉施設で香り袋づくりを開始

フジバカマは、サクラと同じくクマリンという芳香成分を葉などに含んでいます。至学館大学生を対象に実施したアンケートでは、多くの方が「落ち着く香り」という印象を持っていることが分かりました。そのため、市内の福祉施設では、利用者が乾燥させたフジバカマの葉を活用し、香り袋を製作する取り組みを始めています。

自然や生き物を守る 水生生物調査イベント



愛三工業(株)では、鞍流瀬川の自然や生き物を守ることを目的に2016年から毎年、川の清掃活動を行っています。2022年からは知多自然観察会と連携して、川の生き物を観察する水生生物調査イベントも開始。地域の自然をより身近に感じてもらいたいとの思いから始まったこの取り組みは、アンケートで満足度100%を記録するなど、多くの参加者から好評を得ています。特に子どもたちにとっては、生き物と触れ合いながら生物多様性への関心を深め、行動へとつなげる貴重な機会となっています。

大府の豊かな自然と生き物を未来へつなごう

Interview

水生生物調査イベントを通じて、自然や生き物を好きになり、それらを守るために自分に何ができるかを考えて行動してほしいと願っています。今後も、自治体・市民団体・他企業と連携しながら活動を推進し、地域全体で環境保全の輪を広げ、持続可能な循環社会の実現を目指していきます。

愛三工業(株) 山口綾穂さん



アスパ キューロ



家庭から出る生ごみを減らす アスパ・ダンボールコンポスト講座



地域婦人団体連絡協議会は、家庭の生ごみ減量を推進するため、アスパ・ダンボールコンポストなどの講座を開催し、普及啓発に取り組んでいます。環境パートナーシップの関係者であるげんきの郷・薬草園と連携し、げんきの郷では、店舗前のテントで来館者にアスパの使い方・効果を紹介しています。薬草園では、講座参加者が実際にアスパを使って生ごみを堆肥化し、できた堆肥と土を混ぜて薬草園のハーブの苗を植えるまでを体験できる講座を開催するなど、体験型の啓発活動を展開しています。

生ごみ焼却ゼロのまちを目指したい

Interview

私たちが開催するアスパやダンボールコンポストの講座の参加者は年々増加し、環境への関心の高まりを実感しています。今後は、アスパだけでなくダンボールコンポストやキューロ[※]など、マンション・アパートに住む方にも対応できるような方法で生ごみを減らすことを広く呼び掛けていき、生ごみ焼却ゼロのまちを目指していきたいです。

地域婦人団体連絡協議会の皆さん



※土の中にいる微生物の力を利用して生ごみを分解し、消滅させる生ごみ処理容器のこと。分解後に堆肥が発生しないため、庭のない家庭でも手軽に始められる。

生きもの展示で親しむ生物多様性 市内施設などへの水槽展示

おさかな博士に
なったよ！

(株)豊田自動織機長草工場では、生物多様性の大切さを伝える取り組みとして、市内の川で捕獲した在来種の淡水魚などを入れた水槽を、市内の保育園・幼稚園・小学校や病院などの施設へ貸し出しています。これまでに9000人以上が観覧し、こどもたちから1600通を超えるお礼の手紙が寄せられています。

貸出先では、知多自然観察会や至学館大学生・愛三工業(株)の協力のもと、在来魚のミニ観察会や魚に触れるイベントなども実施。かるたで遊びながら魚の生態を学び、テストに合格したこどもには「こどもおさかな博士」の認定証を贈るなど、楽しく生物多様性を学べる工夫をしています。

生き物に触れて、命の尊さを感じてほしい

Interview

私たちは普段、フジバカマの香りが人の体に与える効果を研究しています。環境問題にも関心を持ち、環境パートナーシップのメンバーとして魚に触れるイベントに協力しました。生きている魚に優しく触れることで、命の尊さを感じてもらえたと思います。この体験を通じて、環境に優しい行動を心掛けられるこどもが増えてほしいです。

至学館大学生の 皆さん



事業者・団体・大学が連携 体験を通じて育む生物多様性



(株)豊田自動織機長草工場では、2021年から敷地内で採集した松ぼっくりを市内の保育園・小学校などに配布し、こどもたちの工作材料として活用しています。さらに、至学館大学生や愛三工業(株)の協力のもと、松ぼっくりを使った釣り・けん玉・実験などの体験イベントも開催。材料の配布だけでなく、こどもたちが実際に触れて楽しめる取り組みへと発展しています。このように、市内の事業者・団体・大学の連携によって、生物多様性の理解を深める活動が広がっています。

生き物や環境に興味を持って大切にしてほしい

Interview

(株)豊田自動織機長草工場では、生物多様性の啓発活動として生き物展示を行っています。元々は工場の来客ロビーでの展示でしたが、将来を担うこどもたちに生き物や環境に興味を持ち、大切にすることを育ててほしいと考え、保育園・小学校などへ貸し出す形で活動を広げました。

環境パートナーシップを通じて出会った至学館大学生とも連携し、新たなアイデアが生まれて活動がより活発になっています。今後も地域のさまざまな関係者と協力し、活動を続けていきたいです。

(株)豊田自動織機 長草工場 竹内茂さん





つながる力が未来をつくる 環境パートナーシップ座談会

環境パートナーシップの核となって活動する6人のメンバーが集まり、連携の秘訣や未来への思いを語り合いました。

Discussion

メンバーが共に描く
ゼロカーボンのまちづくり

Member Profile

愛三工業(株) 山口綾穂さん



鞍流瀬川で市民向けの環境学習を行い、生物多様性保全を推進。市・他団体と連携し、川のいきもの観察会のPRにも力を入れる。

(株)豊田自動織機 長草工場 竹内茂さん



子ども向けに水槽貸出・観察会・松ぼっくりを使った体験イベントを実施。環境を楽しく学べる機会づくりに取り組む。

地域婦人団体 連絡協議会 倉元須麻子さん



堆肥作り・ダンボールコンボストの普及など、生ごみ焼却ゼロを目指し、市民への啓発に長年取り組む。

至学館大学 准教授 佐藤桂さん



学生と共にごみ拾いや観察会に参加。大学の授業と連携しながら環境教育を推進し、フジバカマの香りが人体に与える効果の研究を行う。

子育て支援サークル あそびのいっば 大橋房代さん



フードドライブや中高生・母親のための居場所づくりなど、子育て支援と環境配慮を両立した活動を展開。

社会福祉協議会 寛祥太郎さん



企業・市民からの食料寄付を受け取り、必要とする方々へ届けるフードバンクを運営。地域の福祉と環境のつなぎ役として活動する。

coordinator 環境課 植木孝



地域の環境活動をつなげ、発信する役割を担う。複数団体の連携による活動の推進を後押しし、やりがいと広がりのある場を目指す。

—— 参加して良かったと思うことは？

山口 市内企業や団体と関わる機会って、普段なかなかないですね。でも環境パートナーシップ(以下、環境バ)に参加してから「こんなにいろいろな人たちと一緒にできるんだ」と実感しました。鞍流瀬川での環境学習も最初は社内向けでしたが、相談してみたら皆さんとつながって、活動の幅が一気に広がりましたね。

竹内 水槽を貸し出す事業を始める際に、学校や保育園への調整は市が間に入ってくれたので、とてもスムーズでした。市が私たちの活動を後押ししてくれる環境バは、心強いなと思います。

倉元 私たちは、長年ごみの減量や堆肥作りを続けています。環境バに入ってからい

ろいろな人と出会えて、活動が外に広がるようになりました。皆さんの前で自分たちの活動内容を発表できる機会があることは、すごく励みになりますね。

佐藤 研究の幅も、学生の学びの幅も広がりました。最初はフジバカマを知らなかったんですよ(笑) でも「香りの研究に使えるかも」ってひらめいて。あとは、環境バの皆さんと一緒にイベントを運営する中で、学生が地域とつながる実感を持てるのも良いなと思っています。

大橋 私は、環境バに参加し、活動に対してヒントやアドバイスをもらったり、フードドライブ活動を応援してくれる皆さんと出会えて、とても感謝しています。企業の方が「余つてるもので役に立てるかも」と寄付してくれて、それがこどもたちに届く。地域のつながりって、温かいなと思います。

寛 私たち社会福祉協議会は、あそびのいっばとも連携してフードドライブ活動に取り組んでいます。協力するきっかけになったのは環境バでした。地域のさまざまな福祉活動においても環境バの皆さんと関わりがあり、とても心強く感じています。

植木 皆さんの生の声が聞けるのは、市にとってもありがたいです。施策に生かしたり「これは後押しできるな」と思える機会も増えたりします。環境のテーマは、みんなの得意を持ち寄って、支え合っていく。そういうつながりが自然にできているのが、一番の魅力ですね。

—— どうやって連携を築いてきたの？

山口 最初は何かから始めたらいいのかわからないし、やりたいことがあってもノウハウがなくて。でも、環境バに相談したら、すごく丁寧にアドバイスをもらえたんです。従業員だけで始めた環境学習も、今ではいろいろな方と一緒にやるようになりました。勇気を出して相談して良かったなと思います。

倉元 やっぱり発表の場があったことが大きいんです。活動を伝えることで「それなら協力できますよ」って声が掛かったり、場所を貸してもらったりしました。皆さんと話していると、モチベーションもすぐ上がるんですよ。同じ思いの人たちがいるって感じられることが、継続する力になっています。

大橋 皆さんに支えられてここまで来られたなと思います。物や気持ちが循環する、お金ではない支援の形にもこの場でたくさん出会えました。見学に行かせてもらった愛三工業(株)の工場で「こういう場所所で働きたい」って言う子もいて。そういうこどもたちの未来のきっかけに立ち会えるのもうれしいです。

植木 定期的に皆さんの活動を発信する場をつくることで、新しい仲間が入ってきたり、想像もしなかった連携が生まれたりと、いろいろな化学反応が起きるのが面白いですよ。

—— 今後の展望や目指したい姿は？

山口 「まち一番の地域貢献している会社」を目指しているのですが、そのためにも地域の自然や生き物を大事にしながら、環境の大切さを発信していきたいと思っています。

竹内 水槽貸出と松ぼっくりプレゼントを市内の多くの小学校と保育園に届けるのが目標です。こどもたちに「生き物って面白いな」と感じてもらえたら、それが一番の成果かなと思っています。

倉元 生ごみ焼却ゼロのまちを目指したいです。地球温暖化対策のためにも、今の活動を継続して、ゼロカーボンシティの実現に少しでも貢献できたらと思っています。

佐藤 学生には「二酸化炭素と私たちの生

Summarize

つながりが広がる 環境パートナーシップの輪



参加はコチラ



さまざまな事業を行う中で、環境パートナーシップのメンバー同士の交流も深まり、会議後には活発な意見交換が行われています。持続可能な社会の実現には、主体的に動くプレーヤーの存在が不可欠であり、メンバー同士の交流はその実現に向けた重要な基盤です。

環境パートナーシップでは、団体の垣根を越えて連携できるので、単独の活動に不安を覚える方にも安心です。地域の未来を守るために私たちと一緒に活動しませんか。

環境課 村下澄